

東日本鉄道OB会の 皆さまへ

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役副社長
伊勢 勝巳



深秋の候、東日本鉄道OB会の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。副社長の伊勢です。皆さまには当社業務に関し、日頃からご指導・ご支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、JR東日本グループでは、グループ経営ビジョン「変革 2027」に掲げる目標達成のスピードアップを図るため、デジタル技術を活用した業務変革（DX）を推進し、未来の鉄道業界をリードするための取組みを進めています。3万人のデジタル人材を育成する計画を立て、単なる技術革新にとどまらず、社員一人ひとりがデジタル技術を駆使して業務を改善し、より良いサービスを提供することをめざしています。

デジタル人材の育成のほか、イノベーションの推進基盤として、システムやデータ基盤の整備やオープンイノベーションによる社外との連携、事業戦略に沿った知的財産戦略を推進し、サービス品質の向上や業務の効率化を進め、すべての人の「心豊かな生活」の実現をめざします。

また、他の鉄道会社や異業種との協業を積極的に進めています。これにより、JR東日本グループが開発した技術を他社にも展開し、業界全体の進化に貢献することをめざしています。例えば、作業や施工のさらなる機械化、自動運転技術の開発、設備モニタリングをはじめとする維持管理の効率化、環境に配慮した水素ハイブリッド車両「HYBARI（ひばり）」の開発などを進めています。また、Suicaとマイナンバーカードの連携によるお客さまの利便性向上や、鉄道版生成AIを活用した業務の効率化などにも取り組んでいます。

さらに、私たちは「100年に一度のモビリティ革命」とも言われる時代に突入しており、鉄道業界も大きな変革を迎えています。これまでの鉄道業界は一般産業界から隔離された「ニッチな業界」とされてきましたが、デジタル技術の導入によりその扉を開け、新たな可能性を追求しています。

私たちのめざす未来は、単に技術の進化だけでなく、持続可能な社会の実現です。そのためには、社員一人ひとりがデジタル技術を理解し、活用できる環境を整えることが不可欠です。これからも、社員・グループ会社の皆さんとともに成長し、より良い未来を築いていく所存です。

今後とも温かいご指導・ご鞭撻をいただければ幸いです。最後になりましたが、皆さまのますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。